

服薬管理体制・役割イメージ(案)

資料5

高齢者の状況	飲みすぎる		飲めない(飲まない)			
	症状が改善しない	アドヒアラنسが低下(認知症含む)	副作用が生じる	形状が合わない	量が多い	経済的理由
	薬が足りなくなる、中毒症状にて救急搬送されるなど		薬が余りがちになる又は大量に余っている、症状悪化による救急搬送など			
訪問介護 (ホームヘルパー)	・自己管理不良の発見 ・残薬確認、体調確認 ・ケアマネジャーへの報告	・自己管理不良の発見 ・服薬の促し、見守り ・服薬カレンダーの活用支援 ・残薬確認、体調確認 ・ケアマネジャーへの報告	・自己管理不良の発見 ・残薬確認、体調確認 ・ケアマネジャーへの報告	・自己管理不良の発見 ・服薬の促し、見守り ・残薬確認、体調確認 ・ケアマネジャーへの報告	・自己管理不良の発見 ・服薬カレンダーの活用支援 ・服薬の促し、見守り ・残薬確認、体調確認 ・ケアマネジャーへの報告	・自己管理不良の発見 ・服薬の促し、見守り ・残薬確認、体調確認 ・ケアマネジャーへの報告
訪問看護	・自己管理不良の発見 ・体調管理 ・主治医との調整 ・ケアマネジャーへの報告	・自己管理不良の発見 ・服薬の促し、体調管理 ・服薬カレンダーの活用支援 ・主治医との調整 ・ケアマネジャーへの報告	・自己管理不良の発見 ・体調管理 ・主治医との調整 ・ケアマネジャーへの報告	・自己管理不良の発見 ・服薬カレンダーの活用支援 ・服薬の促し、体調管理 ・主治医との調整 ・ケアマネジャーへの報告	・自己管理不良の発見 ・服薬の促し、体調管理 ・主治医との調整 ・ケアマネジャーへの報告	・自己管理不良の発見 ・服薬の促し、体調管理 ・主治医との調整 ・ケアマネジャーへの報告
ケアマネジャー	・アセスメント(患者の状態やニーズの正確な把握) ・主治医との調整 ・ケアプランの策定・見直し ・サービス担当者会議の開催				・公費負担制度の活用支援 ・ケアプランの策定・見直し ・サービス担当者会議の開催	
薬剤師	・症状のモニタリング ・服薬状況の確認 ・服薬カレンダーの活用支援 ・薬効や用法、副作用の説明 ・主治医との調整 ・薬物療法にかかる情報提供 (処方見直しの提案・残薬調整等)					
医師	・診察 ・病状のモニタリング ・処方調整 ・訪問看護指示 ・居宅療養管理指導等指示	・病状のモニタリング ・処方調整 ・薬効や用法、副作用の説明 ・訪問看護指示 ・居宅療養管理指導等指示	・診察 ・病状のモニタリング ・処方調整 ・薬効や用法、副作用の説明 ・訪問看護指示 ・居宅療養管理指導等指示	・病状のモニタリング ・処方調整 ・訪問看護指示 ・居宅療養管理指導等指示	・病状のモニタリング ・処方調整 ・薬効や用法の説明 ・訪問看護指示 ・居宅療養管理指導等指示	・病状のモニタリング ・処方調整
特に薬局が介在するメリット	・薬剤の専門的見地から医療機関に対して情報提供が出来、解きかる。 決策の模索がスムーズとなる。	・薬剤の用法・用量などの専門的知識を活用した解決法を模索できる。	・副作用に対する適切な情報提供が、家族、医療機関にできる。	・患者に合わせた飲みやすい剂量についてスムーズな提案ができる。	・重複薬の調整や多剤について、薬剤の専門的見地から医療機関と相談できる。	・ジェネリック医薬品への提案が出来る。